

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
D-3-1 計測・制御システムとは何だろう	1	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある計測・制御システムを調べる。 計測・制御システムにおけるプログラムの役割を調べる。 計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れを調べる 	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御システムの基本的な構成を理解している。 計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> 主体的に情報の技術について考えようとしている。
D-3-2 問題を発見し、課題を設定しよう	1	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見つける。 発見した問題を解決するための課題を設定する。 		<ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。
D-3-3 計測・制御システムを構想しよう	4	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するための計測・制御システムに必要な情報を収集し、解決策を具体化する。 		<ul style="list-style-type: none"> 入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。 	
D-3-4 計測・制御システムのプログラムを制作しよう	9.5	<ul style="list-style-type: none"> 安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。 		<ul style="list-style-type: none"> 他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。
D-4-1 情報の技術の最適化	1	<ul style="list-style-type: none"> 自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。 情報の技術のプラス面、マイナス面について考え、これらどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の技術の概念について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の技術の最適化について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
D-4-2 これからの情報の技術	1	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の構築のために、これからの情報の技術について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。 	